

松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

松尾鉱山休山の危機と山遊会の始まり

◆松尾鉱業株式会社創立後の危機

大正3(1914)年に松尾鉱業株式会社を創立した中村房次郎氏は、架空索道を新設し、鉱石の輸送路を整備して生産体制を軌道に乗せましたが、硫黄鉱山開発の道りは平坦なものではありませんでした。

7年11月、松尾鉱山でスペイン風邪が猛威を振るい、松尾鉱山の機能が停止。山内の77パーセントにあたる471人が罹患し、そのうち22人が死亡するという不幸な出来事がありました。

9年には、世界金融恐慌の影響を受け、松尾鉱業株式会社の親会社である増田屋が倒産。担保となっていた松尾鉱山は取引銀行に差し入れられ、閉山の危機に陥りました。しかし、中村氏の申し入れが債権者たちに聞き届けられ、債権整理後に松尾鉱山は返還。全従業員651人のうち278人を解雇して、危機を乗り越え

ました。

松尾鉱山にある赤沢川に架かった小さな橋は、鉱山に残る者と去る者で涙を流して別れを惜しんだことから「涙橋」と呼ばれるようになりました。



涙橋で別れを惜しむ人たち

◆松尾鉱山4大行事の一つ「山遊会」の誕生

閉山の危機を免れた松尾鉱業株式会社は、会社組織を再編し、自立再生の歩みを進めることとなりました。大正10(1921)年の春、苦しい時期を乗り越えた人々は、山神社の前に集まり、手作りの弁当を囲んで楽しんだことから「山遊会」の行事が誕生。後に松尾鉱山4大行事の一つとなりました。



郷土芸能でにぎわう山遊会

図書館だより

L I B R A R Y



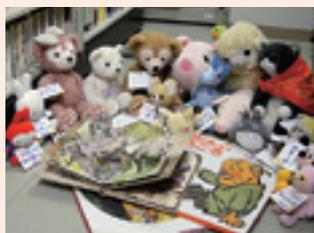
図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆ぬいぐるみお泊まり会の参加者募集

「ぬいぐるみお泊まり会」は、子どもたちの想像力を育み、本や図書館に興味を持ってもらうためのイベントです。お気に入りのぬいぐるみを図書館で預かり、ぬいぐるみが図書館で過ごす様子を撮影。おすすめの絵本の紹介と一緒に写真を贈ります。



図書館で過ごすぬいぐるみたち

■申込期間 2月1日(土)から15日(土)まで

※ぬいぐるみは2月15日(土)までに図書館に持ち込んでください。

■ぬいぐるみの返却日時 2月22日(土)午後3時から

※おはなしのじかんの後に返却します。

■募集人数 15人

◆新着ピックアップ

『そして岩手 写真と文で綴るみちのく讃歌』

文/加藤美南子=北寄木=、写真/畑謙吉=南寄木=

出版社/ツワンライフ

エッセイから児童文学、歴史紀行文、歴史論考、短編小説まで、さまざまな視点から「みちのく」を描いた作品集。写真や図版も多く掲載された地域を見直す1冊です。



『せかいのくにでおめでとう!』

作・絵/野村たかあき、出版社/講談社

お正月、日本では初詣に行くけれど、世界ではどんなお祝いをしているのでしょうか? 14カ国の国々で新しい年の初めに行われている行事が楽しく分かる絵本です。

